



第3章

計画の基本的考え方


3-1 食育の方向


「食でつながろう こまきの輪」

 食は、みんなで食事をするときのわくわくとする楽しい気分やおいしい食べ物を口にしたときの幸福感を生み出し、生産者と消費者、料理を作る人と食べる人といった人と人とのつながりをつくるなど、人々の生活を豊かにするものです。

 子どもたちをはじめとするすべての市民が健全な食生活を送り、生涯を通じて心身ともに健康な状態でいられるように、市民をはじめとする様々な主体がそれぞれの取り組みを進め、ネットワークを形成し、食育を進める方向として「食でつながろう こまきの輪」を掲げます。

3-2 食育推進において果たすべき役割

 食育推進運動は、市民、家庭、学校、保育園、幼稚園、地域、生産者、事業者と行政がそれぞれの立場で行動し、一体となって推進していく必要があります。

 このため、それぞれの主体が果たすべき役割を明確にして、計画の推進を行います。

3-3 施策の体系

この計画では、計画の柱となる以下の4つの「基本目標」を設定し、それぞれに「方向性」を定め、食育推進に取り組みます。

